

2024年6月3日、月1回のリハビリテーション科全体ミーティングで第35回兵庫県理学療法学術大会の予演会を行いました。

今回は、右立脚中期に右股関節の外転と体幹の右傾斜が生じ右側方へ不安定であった右人工股関節全置換術後の一症例について、松原副主任が行いました。

まず、松原副主任が基本情報を伝え、動画を提示しました。その動画から各班で動作分析、問題点の仮説をたて、発表しました。その後、松原副主任が考えた問題点の仮説から考察までを発表しました。

聴講者から、「正常歩行の関節運動と症例様の歩行の関節運動を比較したグラフが見やすかった」、「自分も客観的なデータを提示し学会発表がしたい」といった声がありました。

今後もリハビリテーション科は、学会発表を積極的に行い、患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するよう取り組んでまいります。

(文責 藤原 聰)

【予行会風景】

